

授業展開例（道徳）

1. 学年 第4学年

2. 主題名 ほんとうの友情（2 - 信頼・友情）

3. ねらい

友だちと互いに理解し、信頼し、助け合おう大切さに気付く。

【普遍的視点】

共感

- ・登場人物の考え、立場に共感することを通じて、友だち関係をよりよいものにするために相手を理解したり、信頼することの大切さに気付かせる。

自他の理解と尊重

- ・自分勝手に行動するのではなく、周りの友だちのことを考えながら、互いに助け合って行動しようとする態度を育てる。

4. 資料名 「キースケとモンタ」（日本書籍）* 転載不許可のため資料はありません。

5. 学習指導過程

段階	学習活動と主な発問	児童の心の動き・反応	・支援 評価
つかむ	1. 「友だち」についての事前アンケート結果を見て自分たちの意識を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> ・どんな結果なんだろう。 ...楽しいことを一緒にできる子 仲良く遊べる子 励ましたり慰めたりしてくれる子 など ・同じ考えが多いな。 	<ul style="list-style-type: none"> ・棒グラフにまとめることによって、児童の意識について一目で分かるようにする。 友だちについての関心を持っている。
深める・追求する	<p>2. 資料の前半を読み、考えを出し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三才の時のキースケとモンタはどんな友だちだったでしょう。 ・注意をしたキースケにひどいめにあわされたモンタの気持ちを考えましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・仲がよかった。 ・一緒に木登りの練習をしたり、おいしい木の実のあるところを教え合ったりしていた。 ・助け合っていた。 ・キースケなんて大嫌いだ！ ・注意なんかするんじゃない。 ・もうキースケのことはほっておこうかな。 ・これからは、ぼくもいじめられるかもしれない。 ・あんなに仲がよかったのに...。キースケはどうしてこんなに変わったんだろう。 ・自分が力があるからといって、弱いものいじめをするのはおかしい。 ・ひどいめにあわされても悪いことは悪いと注意しなければいけない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・登場人物の様子や考えが分かりやすいように板書を工夫する。 資料の内容をつかめているか。 ・キースケに何度も注意をしたことを児童に知らせることにより、モンタの気持ちに共感できるようにする。 登場人物の考えや立場に共感できている。

<p>深める・追求する</p>	<p>キースケが沼に落ちたときモンタは、どうするでしょう。</p> <p>3・資料の後半を読む。 キースケは、今度モンタに会ったときにどんなことを伝えようと思ったでしょう。</p>	<p>(助ける)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・このままだとキースケが死んでしまう。 ・友だちのことをほってはおけない。 ・だれも助けないから。 ・キースケは大切な友だちだから。 <p>(助けない)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キースケのことを思って注意したのに、いつもひどい目にあわされたから。 ・木登りのうまいキースケが落ちたのに、自分が行ったら死ぬかもしれない。 <p>(迷う)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・助けたいけど、どうやって助けたいのか分からない。 <p>・助けてくれてどうもありがとう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ぼくのために注意をしてくれていたのに、意地悪ばかりしてごめんね。 ・本当に強いのはモンタのような人のことだね。 ・これからは、モンタみたいに優しい人になりたいよ。 ・もう、弱いものいじめはしないよ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ネームプレートを黒板に貼らせることで、自分の立場を明らかにさせる。 <p>自分の考えを明確に持ち、理由付けができているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・考えの変更を認め、話し合った後でもう一度考えさせる。 <p>友だちの意見を自分の意見と比べながら聞くことができています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・状況が分かりやすいように工夫しながら話をする。 ・キースケが考えた内容を書けるよう助言する。 ・書きにくい児童には、個別に指導する。
<p>見つめる</p>	<p>本当の友だちとはどんな友だちなのでしょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・悪いことをきちんと教えてあげることができる。 ・友だちの言うことを素直に聞く。 ・友だちに優しくする。 ・お互いに助け合うことができる。 ・力を合わせて頑張る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・既習の学習を思い出させることで、ただ注意をすればよいのではなく、相手のことを思いやり、なぜそうするのか考えることが大切であることにも気付かせる。 <p>学習を振り返りながら考えているか。</p>
<p>まとめる</p>	<p>4. 「友だちはいいな」の歌を歌う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・友だちを大切にしていきたいな。 ・みんなと声を合わせて歌うと気持ちがいいな。 ・友だちっていいな。 	<ul style="list-style-type: none"> ・声を合わせて歌うことで、周りの友だちの存在を感じさせる。

6. 評価

- ・本当の友情には厳しさがあることに気付いたか。
- ・登場人物の考えや立場に共感できたか。【共感】
- ・友だちの意見を自分の意見と比べながら聞くことができたか。【自他の理解と尊重】